

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成28年度採択）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
28-1	ETC2.0 プローブ情報等を活用した“データ駆動型” 交通需要・空間マネジメントに関する研究開発	東京工業大学大学院 准教授 福田 大輔	A
<p><研究の概要></p> <p>長期かつ広域で観測される ETC2.0 プローブ情報等の交通関連ビッグデータを，マルチスケールの多様な交通モデルと有機的に結びつけることで，交通政策のエビデンスベース評価を可能とする“データ駆動型”交通需要・空間マネジメントに関する研究・技術開発を行う。また，首都圏，北海道，沖縄を対象として提案する各手法の社会実装（調査・分析・政策評価フレームの構築）を行い，各種交通社会実験の詳細検討に資する知見を提供する。</p> <p><中間評価></p> <p>個々のテーマについてそれぞれデータ収集、分析が行われ、研究が順調に進められているとともに、今後の見通しも適切であることから、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none">3つのサブテーマ間の関係性について、対象または方法の共通性等を明らかにされるとよい。立ち寄りが少ない観光地について、原因究明のための分析を行った上で、有益な政策提言を示し、本研究の深みをもたせてほしい。今後、構築されるモデルの精度の検証方法についても検討してほしい。			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第31回新道路技術会議において審議したものである。